

## 谷戸沢処分場が「自然共生サイト」に認定されました！ ～内陸の管理型最終処分場では初めての認定～

東京たま広域資源循環組合（管理者：多摩市長 阿部 裕行）が管理する谷戸沢廃棄物広域処分場（東京都日の出町）が、「自然共生サイト※」に認定されたのでお知らせします。

谷戸沢処分場は、多摩地域 25 市 1 町の初めてのごみの最終処分場として、昭和 59 年から平成 10 年 4 月まで埋立てを行ってきました。埋立て終了後も適切な維持管理を継続して行うとともに、ごみの埋立てにより失われた里山的自然環境の再生のため、清流復活用貯水池やビオトープ、オオムラサキケースを設置するなど、生態系を豊かにする取組を続けています。

その結果、現在では、処分場内には、日の出町の天然記念物であるトウキョウサンショウウオの産卵や、国蝶であるオオムラサキのケース内での生育、飛翔が見られるほか、生態系ピラミッドの頂点に位置するフクロウが営巣するなど、豊かな里山の生態系が再生しています。

これらの取組により、生物多様性が保全されていること等が評価され、内陸の管理型最終処分場として初めて、「自然共生サイト」の認定を取得することができました。

当組合では今後も、生態モニタリングを継続的に行うとともに、里山的自然環境の再生活動に取り組むことで、2030 年までに陸と海の 30%以上を保全する世界目標「30by30」目標達成に貢献していきます。



谷戸沢処分場の外観航空写真  
(45.3ha)



自然共生サイトの認定ロゴ

※「自然共生サイト」とは、生物多様性の損失を止め、反転させるネイチャーポジティブ実現に向けた取組として、地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律に基づき、企業の森や里地里山、都市の緑地など民間の取組等による生物多様性を増進する活動計画を国が認定する制度です。認定された活動の実施区域を「自然共生サイト」と呼びます。



夏の谷戸沢処分場とビオトープ



国蝶オオムラサキ



トウキョウサンショウウオ

### 谷戸沢処分場の見学について

谷戸沢処分場は、平成 10 年に埋立ては終了したものの、管理を継続して行っている廃棄物最終処分場です。現在、週末を中心に埋立地の一部をグラウンド（暫定利用）やサッカー場として地元日の出町に貸し出していますが、**通常は、処分場として閉鎖管理を行っており、一般開放された施設ではありません。**

東京たま広域資源循環組合では、毎年、多摩地域在住、在勤、在学の方を対象としたオオムラサキ見学会や夏休み処分場見学会などを開催しています。詳細はその都度、当組合ホームページに掲載します。

当組合のホームページでは谷戸沢処分場で実施している自然環境保全の取組や、処分場内で見られる動植物、景色等の写真を掲載しています。

◆循環組合ホームページ：<https://www.tama-junkankumiai.com/kankyo/hozen>

◆他参考サイト

・環境省 自然共生サイトのホームページ

： <https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

・環境省 報道発表資料「自然共生サイト」認定について

： [https://www.env.go.jp/press/press\\_00761.html](https://www.env.go.jp/press/press_00761.html)